

水分補給は、
忘れずに…!!



工房だより

～ ペットのための自然食キッチンから～

大地からの恵みいっぱい
ドッグフード
工房

2023年07月号

vol. 62

いつもドッグフード工房さんのご飯を美味しく食べてます。食べることに憂鬱なことが家族みんな一緒にいることが大好きな「くるみ」です。手作りご飯と交互にあげてますがいつもたくさん食べしてくれます！これからもお世話になります！



今月の一枚
くるみちゃん
トイプードル
十オ



ワンちゃんのお写真募集中！
メールにて一言添えてお送りください。採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。

info@petfood-kitchen.co.jp

シニア犬サプリのご紹介

この春、新発売したシニア犬サプリは、高齢犬がいきいきと健康に過ごせるよう考えて開発したこだわりのサプリです。まず、最大の特長は原材料の全てが天然素材由来の原料を使用していることです。

全て天然材料を使用しつつも、いきいきと暮らせる4つのポイント!!

一、関節の健康

「コンドロイチンとⅡ型コラーゲン
ニアセチルグルコサミンを配合
二、いつまでも元気で
イチヨウ葉フラボノイド配糖体と
イチヨウ葉テルペンラクトンが記

憶力や認知機能の維持に貢献

三、皮膚の健康

エラスチン配合で皮膚や血管の健康維持に配慮

四、いつまでも若々しく

抗酸化成分である大豆由来のピタミネを配合

愛犬の健康寿命を支えたいとの思いでおつくりしました。



【与え方】ドッグフードにふりかけのようにかけて与えてください。※さらにその上からお水やぬるま湯をかけて与えることもおすすめしております。

フードの食いつきもUPします。定期もご利用しておりますので是非ご利用ください。
ご不明な点等がございましたら、お客様窓口までご連絡ください。

お客様窓口 0120-634-436
十時から十七時半（日祝お休み）

お中元企画 三十名様にプレゼント インスタグラム大抽選会!!

日頃の感謝を込めて、抽選で三十名様に豪華賞品が当たる大抽選会を開催!!

応募期間

七月一日（土）から八月十五日（火）

応募方法は、指定のハッシュタグ（#ドッグフード工房うちの子自慢）をつけて、愛犬のお写真をInstagramに投稿するだけ。

ドッグフード工房をフォローしていない方はフォローしてから投稿ください。

詳細は、サイトのお知らせやSNSにてあらためてご案内いたします。

ゴールデンレトリバーに多い病気

今月はゴールデンレトリバーに多い病気についてお話させていただきます。

この犬種は悪性腫瘍に罹患する確率が高いと言われてます。犬全体の腫瘍罹患率は約6%ほどですが、ゴールデンレトリバーの罹患率は12%という統計検査もあることから、他の犬種と比較しても発生しやすいことが分かります。

しかしながら、「うちの子、がんかもしれません」と来院されることはほとんどありません。むしろ、健康診断の際などで偶然に見つかるケースがほとんどです。その理由として、初期症状がほとんどないことや、特異的な症状がないことなどが挙げられます。

肥満細胞腫や乳腺腫瘍など、体表面でできる腫瘍の場合はしこりが大きくなる過程で気が付くこともありますが、血管肉腫など体内に出来るタイプやリンパ腫など血液のがんと呼ばれるものを日常生活の中で、気づくことは、ほぼ不可能といえます。

気が付いた時には既に進行していた...



いう状況を防ぐため、定期的な健康診断はとても大切です。愛犬の年齢にもよりますが、少なくとも年に1回〜2回は受けることが出来ると良いですね。

また、ご自宅でも小さなしこり等に気が付くことができるよう普段からスキンシップをかねて全身を触ってあげるようにしましょう。食欲がない、なんとなく元気が無い、など僅かな変化も大切な情報の一つとなります。なんとなく、いつもと様子が違うなあ？と気になることがあれば、迷わず、かかりつけの獣医師に相談しましょう。

早期発見は治療の幅が広がるだけでなく、治療をはじめた際にも愛犬にかかる負担が小さくなります。楽しく、元氣な時間を過ごせるよう、普段から愛犬の様子をしっかりとみていきたいですね。

今回は、検査方法についてです。

獣医師 岡田愛香



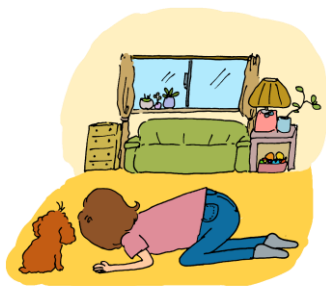
Chap35: ワン友のお預かり

「高尾さんちの叶ちゃん」

食後、まったりとYouTubeをみている工さんの前に、片付けを終えた房さんが立ち上がるように座りました。工さんは、これは何か相談事があるサインだと察して、テレビを消しました。テレビが消えるか消えないかのタイミングで房さんが話始め



ました。「全然大した話ではないんだけど...」そらきたあ〜と、工さんは、感が冴えている!!とちよつと嬉しくなりながら、優しく「なんだい?」と答えました。「叶ちゃんのお友達でね、最近よく遊んでいるフレブルのコウ君ってね。すごくいい子でね...」これは相談ではなく...、事後報告かな? 「でね、コウ君のママがね、困っていたから、預かることにしました、勝手にごめんなさい。」と最後は早口で言い切った房さん。工さんは頷いて「いいんじゃない。



ない。僕らもオウちゃんママに助けってもらったから。でも、命を預かるのだから、ちゃんと準備はしなくちゃね。」早速、危険はないかとリビングをチェックしたり、コウ君のお家にお邪魔して日頃の様子を伺ったり、ごはんやおやつのタイミング、トイレなどなど細かく聞きました。週末の一日、でも房さんは真剣でした。当日は、コウ君が寂しくないように、大好きなおもちゃや家族の匂いがついている毛布持ってきてもらいました。コウ君は、工さんにも懐いて日曜の朝のお散歩は、房さんが叶ちゃん、工さんがコウ君のリードをもって、それはそれは楽しい時間を過ごしました。

つづく